

rr

報道関係者各位

平成 24 年 6 月 4 日

特定非営利活動法人「子ども健康フォーラム」
社会福祉法人 中央共同募金会
マニユライフ生命保険株式会社

「マニユライフ生命 子どもの療養環境改善寄付金」特別企画

被災地、避難地域で病気と闘う子どもたちによりよい遊びを提供する
「東日本大震災子どもの療養環境支援プロジェクト」助成先決定

子どもの医療や健康の支援・療養環境改善のために全国的にみても先駆的な活動を進めている特定非営利活動法人(NPO 法人)「子ども健康フォーラム」(愛知県みよし市、理事長 長嶋 正實)は、マニユライフ生命保険株式会社、社会福祉法人中央共同募金会の支援を受けて被災地および避難地域の医療施設等を対象に、より良い遊び場の普及を目指して「東日本大震災 子どもの療養環境支援プロジェクト」を実施し、この度、20箇所に助成が決定いたしました。

入院や通院している子どもの療養環境への関心が近年、高まっていますが、まだ広く浸透している状況とはいえません。特に東日本大震災で被災された東北地方は、子どもの医療施設の療養環境が十分な状態ではありません。病院に通院または入院している子どもたちは、病気との闘いとともに、被災というダメージとの闘いがあり、療養環境の充実に配慮すべきではないかと考えます。

このプロジェクトは 2005 年から取り組んできた「マニユライフ生命 子どもの療養環境改善活動」のノウハウを用い、被災地、並びに避難地域の医療施設を対象に実施します。マニユライフ生命からの寄付金をもとに、小児医療施設の療養環境向上のためにおもちゃ、ゲーム、書籍、備品等の物品を提供し、その運用方法についてもサポートいたします。

このプロジェクトが、被災された方々にとってくつろぎとふれあいの場となり、また、小児医療施設において療養環境への関心がさらに高まるきっかけとなることを目指しています。

「マニユライフ生命 子どもの療養環境改善寄付金」について

NPO 法人「子ども健康フォーラム」の活動趣旨に賛同したマニユライフ生命保険株式会社と全国の同社職員の社内募金協力により寄贈された寄付金を、社会福祉法人中央共同募金会を通じてNPO法人「子ども健康フォーラム」に寄贈。NPO法人「子ども健康フォーラム」が、子どもの療養環境改善を促進するため、全国の子どもが入院または通院する医療施設を対象に、子どもの療養環境改善に役立つより新しく有益な特別企画のアイデアを公募し、優秀なアイデアに対してこの寄付金による助成をするものです。

<助成先一覧>

- ・岩井小児科医院(岩手県)
- ・もりおかこども病院(岩手県)
- ・宮城県子ども総合センター附属診療所石巻診療室
- ・赤石病院(宮城県)
- ・登米市立登米市民病院(宮城県)
- ・宮城厚生協会 坂総合病院(宮城県)
- ・美里町町立南郷病院(宮城県)
- ・福島整肢療護園(福島県)
- ・公立相馬総合病院(福島県)
- ・公立岩瀬病院(福島県)
- ・岩手県立釜石病院(岩手県)
- ・塩竈市立病院(宮城県)
- ・医療法人医徳会 真壁病院(宮城県)
- ・大崎市民病院(宮城県)
- ・登米市立米谷病院(宮城県)
- ・宮城県済生会こどもクリニック(宮城県)
- ・仙台医療センター(宮城県)
- ・寿泉堂総合病院(福島県)
- 福島県立医科大学付属病院(福島県)
- ・茨城県立こども病院(茨城県)

<NPO「子ども健康フォーラム」について>

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子ども達に、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要・不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児専門病院の「あいち小児保健医療総合センター」(愛知県大府市)をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレイルーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けているところです。

<社会福祉法人中央共同募金会について>

社会福祉法人中央共同募金会は、赤い羽根募金でおなじみの日本最大の募金団体です。全国 47 都道府県共同募金会の連合体で、赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。

また、寄付金の受入れおよび調整や、民間助成資金・公益信託などの取扱いを通して、民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。NHK との共催による「NHK 歳末たすけあい」、ボランティア活動の推進なども行っています。

<マニユライフについて>

マニユライフ生命保険株式会社(「マニユライフ生命」)は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業です。

マニユライフ・ファイナンシャルは、主にアジア、カナダ、米国を中心に事業を展開しているカナダ系大手金融サービス・グループです。マニユライフは信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を、お客さまにお届けすることを目指して、2012 年で創業 125 周年を迎えました。同社職員、エージェントおよび販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、世界各地の数百万のお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、世界各地の機関投資家のお客さまには、資産運用サービスもご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2012 年 3 月 31 日現在 5,120 億カナダドル(5,120 億米ドル)となっています。カナダおよびアジア地域ではマニユライフ・ファイナンシャル(マニユライフ)として、米国においては主にジョーン・ハンコックのブランドで事業を展開しています。マニユライフ・ファイナンシャルは、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細はウェブサイト (www.manulife.com) をご覧下さい。マニユライフ生命のウェブサイトは次の通りです。(www.manulife.co.jp)

被災地、避難地域で病気と闘う子どもたちによりよい遊びを提供する 「東日本大震災子どもの療養環境支援プロジェクト」概要

<スケジュール>

- ・応募期間：2012年1月～4月20日
- ・審査期間：2012年5月
- ・贈呈先発表：2012年6月3日(日)、あいち小児保健医療総合センター(愛知県大府市)で開催される「子どもの療養環境研究発表会」にて発表予定。
NPO 法人子ども健康フォーラムのウェブサイトにも掲載予定。
- ・実施期間：2012年7月より随時、運用支援は2012年内を目処

<支援内容>

子どもたちの療養環境向上のために、おもちゃ、ゲーム、書籍、備品等の物品を提供いたします。
応募箇所数・希望物品等を考慮しながら、総額300万円の範囲で20～30ヶ所を贈呈予定。

<募集対象>

東日本大震災の影響があった子どもを対象とした医療を行っている病院・施設で、院長、小児科医長、看護師長等、病院・施設内の責任者の方からの応募を原則とします。

<応募方法>

応募用紙に記入・押印の上、4月20日(金)までに、下記応募先まで郵送をお願いします。
応募用紙はNPO 法人子ども健康フォーラムホームページ <http://www.npo-cln.org/index.html> よりダウンロードしてください。

- * ご記入内容について質問をさせて頂く場合があります。管理責任者は、その際に対応いただく方をご記入下さい。
- * 贈呈物品の活用方法や管理方法について不明点があればお気軽にご相談下さい。(運用支援)

<問合せ・応募先>

〒470-0233 愛知県みよし市三好丘あおば 2-5-8 706 篠原方
NPO 法人子ども健康フォーラム事務局 篠原奈美
電話：090-6570-2709
E-mail：office@npo-cln.org